

スタートアップ・エコシステム形成支援 採択プラットフォーム紹介



プラットフォーム名: (令和7年7月時点)
Platform for All Regions of Kyushu & Okinawa for Startup-ecosystem

令和4年度開始～令和8年度終了予定

参画機関

主幹機関:九州大学、九州工業大学 共同機関:FFGベンチャービジネスパートナーズ、長崎大学、北九州市立大学、佐賀大学、熊本大学、大分大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学、九州産業大学、久留米大学、第一薬科大学、福岡大学、福岡工業大学、山口大学、立命館アジア太平洋大学、沖縄科学技術大学院大学学園、九大OIP株式会社、長崎総合科学大学、九州歯科大学 幹事自治体:福岡市、北九州市

目指すスタートアップ・エコシステム 「オール九州・沖縄でアジアとつながるスタートアップ・エコシステムの創出」

九州・沖縄という地域にあるべき、かつ顧客志向で業界改変を実現可能なベンチャーを持続的に創出していくために、拠点都市である福岡市、北九州市をモデル都市に、また九州・大学発ベンチャー振興会議との密な連携のもと、アントレプレナーシップ教育から起業支援までを一気通貫で実施していく。令和8年度末には、独自のVCやPoCファンドの運用を行うPARKSインターユニバーシティ設立を目指す。

(1) 起業活動支援プログラムの運営

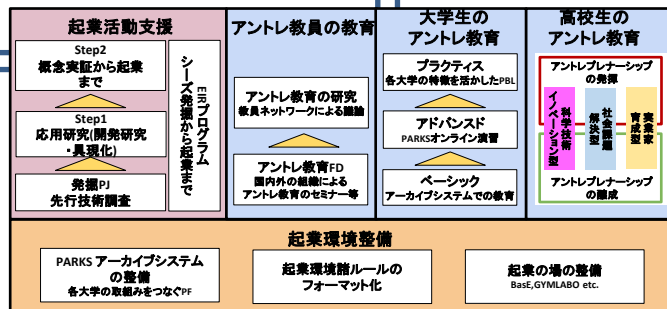
- ・令和8年度末までに155社の起業を目指す。
- ・Step1、Step2の2つのステップで起業活動支援プログラムの提供。なお、令和6年度以降は、「大学発新産業創出基金事業 スタートアップ・エコシステム共創プログラム」において起業活動支援プログラムの提供を行う。
- ・起業活動支援プログラムを提供するシーズの選考はVC関係者等外部委員で組織された審査委員会を実施する。
- ・各大学のURAやCXO人材候補等の配置によるハンズオン支援を実施する。
- ・終了後は、Demodayや拠点都市の施策へのシームレスな接続を実施し、PARKSからの持続的なスタートアップ創出を実現する。

(2) アントレプレナーシップ人材育成プログラムの開発・運営等

- ①アントレプレナーシップ教員の教育として、
 - ・先進的なアントレプレナーシップ教育に取り組む組織と連携してFDを実施する。
- ②学生のアントレプレナーシップ教育として、
 - ・アーカイブシステムを利用したオンデマンド教育を実施する。
 - ・PARKS全体で受講可能なアントレプレナーシップ教育のセミナーを実施する。
 - ・海外の大学や組織と連携したアントレプレナーシップ教育を実施する。
 - ・各大学の特色を活かしたPBL等を実施し、社会実装につなげる。

(3) 起業環境の整備

プラットフォーム内で①各大学の取組をつなぐPARKSアーカイブシステムの運用、②起業環境諸ルールのフォーマット化、③各拠点の起業環境をICTツールによるネットワーク化によりオール九州・沖縄一体でスタートアップ・エコシステムを創出するための環境を整備する。



(4) 拠点都市のエコシステムの形成・発展

- ・6つの運営機関が中心となり、九州・沖縄が一体となったPARKSプラットフォームの運営を推進する。
- ・福岡市・北九州市の両スタートアップ・エコシステム拠点都市をモデル都市として、PARKS全体にスキル・ノウハウを展開する。
- ・アジアのVCとも連携を行い、アジア展開も見据えた支援を実施していく。

活動成果

(起業活動支援プログラムの運営) 令和6年度からは、スタートアップ・エコシステム共創プログラムで実施している。(アントレ人材育成プログラム開発・運営等) 令和6年度は、それまでの取り組みに加えて、海外派遣プログラムを実施した。シンガポール、台湾、香港に学生を派遣し、スタートアップ関係者との交流などを行った。(起業環境整備) 各大学の起業関係諸ルール等の整備を進めた。各大学の取組をつなぐPARKSアーカイブシステムは、参画する大学でコンテンツを共有するための運用規約とコンテンツの許諾書を整備し、第一版モデルの運用を開始している。(拠点都市のエコシステムの形成・発展) 毎週の運営会議、毎月の運営連携会議をもとにPARKSの運営を推進。PARKSシンポジウムを開催し、大学・自治体・省庁・金融機関・VC等から120名程度の参加者があった。台湾・シンガポール等のスタートアップエコシステムと引き続き連携を強化中。